

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	健康栄養学部		
科目名称 [英語名称]	カウンセリング概論 [Counseling Psychology]			実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
科目コード	111620	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	2年次
教員氏名	矢島 順			学位授与の方針 との関連	DP1(1)(2),2(1)(2)		
授業概要	<p>講師は精神科病院や公立中学校スクールカウンセラー業務を通じて臨床現場で成人、児童生徒へのカウンセリングを行ってきています。認定資格である臨床心理士資格を持ち、平成29年に第1回国家試験が行われた公認心理師資格も取得しました。臨床現場での経験をもとに事例を交えながらわかりやすく授業します。 この授業の目的は、カウンセリングの理論や方法、基本的態度を講義します。</p> <p>カウンセリング理論の中でも矢島が実践している解決志向アプローチについて学ぶことで「前向きになるコミュニケーション」を身につけることを目標にします。 また、解決志向を生んだ家族療法のシステム論とコミュニケーション論について学び、問題を生むコミュニケーションと解決を生むコミュニケーションについてさらに理解を深めます。</p>						
関連する科目							
授業の進め方と方法	本授業は、試験は行いませんが、授業ごとにレポートを課題とします。						
授業計画	<p>第1回オリエンテーション 第2回皆さんのカウンセリングについてのイメージをお聞きしながら「カウンセリングとは？」について講義する。 第3回カウンセリング＝コミュニケーションという視点から、皆さんがコミュニケーションで大事にしていることをお聞きし「良いコミュニケーションとは？」について講義する。 第4回代表的なカウンセリング理論を紹介し、カウンセリングのとらえ方の違いを講義する。 第5回クライアント中心療法の傾聴技法について講義する。 第6回ロジャーズのパーソナリティ変化のための必要にして十分な条件を学ぶ。 第7回ロジャーズのパーソナリティ変化のための必要にして十分な条件を学びその中の共感について自らの体験と重ね理解する。 第8回解決志向アプローチの解決志向と反対の問題志向について理解する。 第9回解決志向アプローチのコンプリメントについて理解する。 第10回矢島が実践する解決志向カウンセリングの中心哲学について理解する。 第11回解決志向カウンセリングの効果的質問法について理解する。 第12回解決志向のもとになった家族療法におけるシステム論について理解する。 第13回解決志向のもとになった家族療法におけるコミュニケーション論について理解する。 第14回問題を生むコミュニケーションと解決を生むコミュニケーションを理解する。 第15回まとめ</p>						
授業の到達目標	<p>カウンセリングの諸理論を理解し説明できるようになる。 解決志向カウンセリングの特徴を知り説明できるようになる。</p>						
授業時間外の学修	<p>復習 授業終了後に示す課題についてレポートを作成する。 予習 授業の際に次回の内容を提示するので体験を含む関連情報をまとめておく。</p>						
課題に対する フィードバック				評価方法	授業時間内に提出または次回に提出のいずれかで計10回のレポートを課題にし評価します。1レポート10点		
テキスト	授業毎資料を配布する。						
参考書	森 俊夫 黒沢幸子「森・黒沢のワークショップで学ぶ解決志向ブリーフセラピー」ほんの森出版 ISBN 4-938874-27-X						
備考							